

令和 4年度

事務事業評価表 (令和 3年度 の実績評価)

記入年月日
令和 4 年 4 月 1 日

事務事業名		観光パンフレット作成配布事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	040301000548
						単独/補助	単独	所属課	050301
政策体系		政策体系上の位置付け						課長名	商工観光課
総合計画の施策名		0403 観光の振興						グループ	商工観光グループ
政策名		04 活力ある産業のまちづくり						担当者名	
施策名		03 観光の振興							
手段名		01 ①観光資源の再発見とPR強化							
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	単年度繰返し (年度~)	
	01	07	01	04	01	00	観光事業	期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
法令根拠									

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
桜川市の魅力を多くの人々に知ってもらうため、パンフレット等を作成イベント等で配布する。 【作成実績】 (1) 桜川市観光案内 (2) 桜川市ハイキングマップ (3) さくらめぐり (観光協会) (4) 真壁めぐり (観光協会)	桜川市観光案内、ヤマザクラ・真壁の町並み関連パンフレット、ハイキングマップなどの作成

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
各種パンフレットの作成	桜川市観光案内パンフレットの作成数	部	17,800.00	0.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00
	ハイキングマップの作成数	部	2,000.00	2,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
	ヤマザクラ関連パンフレットの作成数	部	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00
	真壁の町並み関連パンフレットの作成数	部	8,000.00	6,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
桜川市に興味のある方	パンフレット送付者数	人	300.00	500.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
パンフレットを配布することで、多くの人々に桜川市の魅力を知ってもらう。	真壁のひなまつり来訪者	人	60,000.00	60,000.00	80,000.00	80,000.00	80,000.00
	雨引観音来訪者	人	107,000.00	112,000.00	180,000.00	180,000.00	180,000.00
	ヤマザクラ来訪者	人	5,000.00	5,000.00	40,000.00	40,000.00	40,000.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
事業費	国庫支出金	千円	500	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	使用料・手数料	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	1,892	793	1,300			
	事業費計(A)	千円	2,392	793	1,300			
正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人				

03年度事業費 実績 (千円)

04年度事業費 予算 (千円)

事業費の内訳	03年度実績	04年度予算
10 需用費	464	
12 委託料	329	
合計	793	
合計		1,300

事務事業名	観光パンフレット作成配布事業	事務事業No.	40301000548	所属課	商工観光課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
桜川市の観光PRのために開始された。桜川市のヤマザクラを中心に、リピーターをはじめ観光客は徐々に増えつつある。桜川市観光案内については、掲載情報が見にくいとの声があり平成28年度にリニューアルを行った。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
現状に合った、より見やすいパンフレットの作成が要望されている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 観光資源を紹介するパンフレット作成は、市の観光振興に結びつく。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 観光振興の図るために作成しており、市が作成することは妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 観光客のニーズに合わせたパンフレットを作成することで、成果向上を図ることができる。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市を訪れた観光客に向けた情報が伝えられなくなる。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合)
	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 具体的手段、事務事業名 観光協会運営支援事業 性質上、類似事業との統廃合は難しいが、より内容が充実したパンフレットを作成できるよう互いに連携していく。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない 現在のパンフレットを必要に応じて修正し、情報の更新を行い経費の削減を図っているが、大幅な内容変更が必要な場合には、事業費の削減は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民や観光客に対して配布しており、公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																											
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	桜川市ハイキングマップについては、R2年度に大幅リニューアルを行った。内容については好評であり、R3年度に増刷を実施した。																											
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
(3) 今後の事業の方向性																													
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																													
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																											
現在のパンフレットの内容を見直し、リニューアルをする必要があるため、情報収集をする必要がある。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下	維持		×	×	低下		×	×
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上																												
	維持		○	×																									
低下	維持		×	×																									
	低下		×	×																									
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ④																											

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>